

高校日本史プリント (過去問類似)

中世 No.3

名前

得点

/11

問1 中世の日本海交易において、津軽半島北西部に位置し、北方地域や大陸の文物が流入する拠点として栄えた港町はどこか。この地は、鎌倉幕府のもとで蝦夷沙汰職を務めたとされる武士の一族の支配拠点でもあった。 (2006年 全国公立入試 類似)

1. 兵庫湊 2. 品川湊 3. 十三湊 4. 大湊

問2 室町時代に活躍した画僧で、遣明船に同乗して明に渡り、本場の中国画風を学んだ。帰国後、日本の自然景観に即した独自の画風を確立し、『四季山水図巻』や『天橋立図』などの代表作を残した人物は誰か。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 雪舟 2. 明兆 3. 周文 4. 如拙

問3 鳥羽上皇の皇女(暲子内親王)であり、父から譲られた膨大な荘園群を伝領して巨大な経済力を保持した。治承・寿永の乱期には、平氏打倒の令旨を発した以仁王の子を保護するなど、平氏政権と対立する政治的動向を示したことで知られる女性は誰か。 (2026年 全国公立入試 類似)

1. 平時子 2. 平徳子 3. 八条院 4. 平盛子

問4 室町時代に、京都などの都市において、酒屋とともに高利貸を営んで富を蓄え、幕府の重要な財源として課税対象となった、質物を保管する強固な倉庫を備えた金融業者を何というか。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 借上 2. 問屋 3. 酒屋 4. 土倉

問5 1543年、ポルトガル人を乗せた中国船が漂着し、日本に初めて鉄砲が伝えられた、領主の時堯がこれを買取ったことで知られる九州南方の島はどこか。 (2006年 全国公立入試 類似)

1. 口之津 2. 鹿児島 3. 島原 4. 種子島

問6 平安時代中期、源信は極楽往生の方法を具体的に説き、のちの浄土教の発展に決定的な影響を与えた書物を著した。この書物は日中を往来する商人によって中国へも伝えられたが、その書物の名称は何か。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 往生要集 2. 十住心論 3. 三教指帰 4. 秘蔵宝鑑

問7 前九年合戦・後三年合戦の混乱を経て奥羽地方の覇権を確立し、平泉を本拠地として奥州藤原氏4代にわたる繁栄の基礎を築いた人物は誰か。中尊寺を建立し、特産の金や馬、北方交易による富を背景に独自の仏教文化を花開かせた。 (2008年 全国公立入試 類似)

1. 藤原清衡 2. 藤原秀衡 3. 藤原基衡 4. 藤原泰衡

問8 3代将軍源実朝の時代に、侍所別当であった和田義盛を挑発して挙兵に追い込み、これを滅ぼすことで執権としての権力をさらに強固なものとした人物は誰か。 (2007年 全国公立入試 類似)

1. 北条泰時 2. 北条時宗 3. 北条義時 4. 北条時政

問9 鎌倉幕府の5代執権である北条時頼は、幕府の権威を高めるとともに北条氏の執権政治を安定させるため、前将軍の藤原頼経を京都へ送還した。これに代わって、後嵯峨天皇の皇子として鎌倉に迎えられ、最初の皇族将軍となった人物は誰か。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 守邦親王 2. 宗尊親王 3. 惟康親王 4. 久明親王

問10 室町幕府の8代将軍足利義政の妻であり、夫が政務を放棄した時期に幕政に関与し、大名らへの資金貸し付けなどの金融活動を行った人物は誰か。 (2026年 全国公立入試 類似)

1. 日野康子 2. 日野重子 3. 日野富子 4. 赤松登子

問11 織田信長は、桶狭間の戦いで今川義元を破って頭角を現し、美濃の斎藤氏を滅ぼして本拠地を岐阜に移した。その後、信長が室町幕府の再興を大義名分として、前将軍の弟である足利義昭を擁して京都へ入り、中央政界に進出した政治的・軍事的行動を何というか。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 改易 2. 上洛 3. 転封 4. 和睦

答え合わせ・解説 No.3

問1	答え 3 十三湊	十三湊は、青森県の津軽半島に位置する中世の港町である。鎌倉時代から室町時代にかけて、蝦夷沙汰職を務めた安藤氏（安東氏）の支配のもと、日本海交易の拠点として大いに栄えた。発掘調査からは、アイヌ文化圏や中国（宋・元・明）からの陶磁器など、多様な文物が流入していたことが明らかになっている。
問2	答え 1 雪舟	室町時代、禅宗の隆盛に伴い水墨画が発達した。画僧である雪舟は大内氏の支援を得て明に渡り、中国の絵画技法を吸収した。帰国後は日本の自然を写実的に捉えた独自の様式を大成させ、のちの日本絵画に大きな影響を与えた。
問3	答え 3 八条院	鳥羽上皇の皇女である暲子内親王（八条院）は、父から伝領した膨大な荘園群を背景に、院政期から鎌倉時代にかけて政界に強い影響力を持った。治承・寿永の乱においては、平氏打倒を掲げて挙兵した以仁王の子を保護するなど、平氏政権と対立する姿勢を明確にした。
問4	答え 4 土倉	室町時代には貨幣経済の浸透に伴い、高利貸を営む金融業者が台頭した。質物を保管する倉庫を持っていたことからこの名で呼ばれ、酒屋とともに幕府の重要な財源として課税対象（土倉役・酒屋役）となった。
問5	答え 4 種子島	1543年、ポルトガル人を乗せた中国のジャンク船が九州南方の種子島に漂着した。この際、領主の種子島時堯がポルトガル人から火縄銃を購入したことで、日本に鉄砲とその製造技術が伝来した。この出来事は、のちの戦国時代の戦術や兵農分離、城郭の構造などに決定的な影響を与える契機となった。
問6	答え 1 往生要集	源信は『往生要集』を著し、地獄や極楽の様子を具体的に描写して念仏による極楽往生を勧めた。この書物は日本の貴族や庶民に広く受け入れられただけでなく、当時、日中を往来していた商人たちの手によって宋（中国）へももたらされ、現地でも高く評価された。
問7	答え 1 藤原清衡	前九年合戦・後三年合戦ののち、奥羽地方の支配権を握った藤原清衡は、11世紀末に本拠地を平泉に移した。清衡は中尊寺を創建するなど、仏教に基づく平和な理想郷の建設を目指し、奥州藤原氏の全盛期の礎を築いた。
問8	答え 3 北条義時	源頼朝の死後、北条氏は有力御家人を次々と排斥して権力を握った。第2代執権である北条義時は、1213年に侍所別当の和田義盛を挑発して挙兵させ（和田合戦）、これを滅ぼした。これにより侍所別当の地位も執権が兼ねるようになり、北条氏の独裁的地位が確立されていった。
問9	答え 2 宗尊親王	5代執権の北条時頼は、反北条勢力が前將軍の藤原頼経を担ぎ上げるのを防ぐために彼を京都へ送還し、1252年に後嵯峨天皇の皇子を將軍として迎えた。これにより、以後の鎌倉將軍は皇族から迎えられる皇族將軍の時代となった。
問10	答え 3 日野富子	足利義政の妻である日野富子は、義政が政務を放棄した時期に幕政に関与し、大名らへの資金貸し付けなどの金融活動を行いました。これは従来「悪女」としての行動とみなされてきましたが、現代の研究では幕府財政の運用や味方への経済支援としての側面が評価されています。
問11	答え 2 上洛	織田信長は、尾張・美濃を平定したのち、1568年に足利義昭を奉じて京都へ入る上洛を敢行した。これにより義昭を15代將軍に就け、室町幕府を再興するとともに、自らはその背後で実権を握り、天下統一への足がかりを築いた。